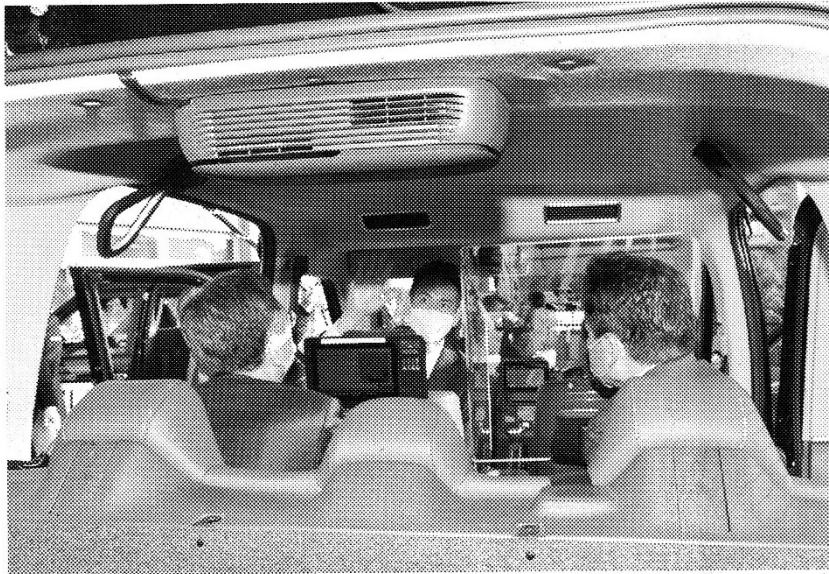


④車いす用スロープを説明する川鍋会長（右）。真剣に見入る赤羽国交相（中央）と公明党の斉藤鉄夫副代表⑤手前・上の装置がデンスーの新型空気清浄機。赤羽国交相（右）は車両に乗り込んで快適さを体験した（16日、東京・霞が関）



「新常態タク」に太鼓判 赤羽国交相が視察 「安心を周知」

赤羽一嘉国土交通相は16日、東京・霞が関の同省1階正面玄関前駐車場で、高性能フィルター付き空気清浄機などを備えた「ニューノーマル（新常態）タクシー」を視察した。業界の新型コロナウイルス対策を高く評価し、広く周知する意向を表明した。ワクチン接種会場への移動手段にタクシーが積極的に使われるよう、政府部内で情報共有し、自治体側に働きかける考えを示した。

高規格の空気清浄機はデンスー製で、車内空間の清浄度が分かるモニターもセット。運転席と客席を仕切る「これで値段（乗車運賃）は同じなの」と軽い口調で問いかけ、川鍋会長は「今後の課題になります」と答えた。

赤羽国交相は車両に乗り込み、装置を一つ一つチェック。「これくらいしないと安心感とは与えられないのかもしれない。素晴らしい努力だ」と感嘆の声を上げた。

「新常態タク」に太鼓判
赤羽国交相が視察 「安心を周知」

るし字型・透明の飛沫感染防止板を取り付ける。
現在、全国で唯一、完備している日本交通（東京）の車両が持ち込まれた。川鍋一朗会長（全国ハイヤー・タクシー連合会会長、東京ハイヤー・タクシー協会会長）が案内し、「今の時期は花粉にも効果的。移動するならタクシーが一番安全だとアピールしている」と紹介した。

国交相は視察後、記者団に「利用者目線に立った、さまざまな工夫が凝らされている。2020年度第3次補正予算と21年度当初予算では、公共交通機関への支援、感染対策として合わせて500億円を超える額を計上している。しっかり

使ってほしい」と語った。
「タクシースの感染防止策が相当進んでいると皆さんに周知し、安心して利用してもらえよう応援していく」と強調。「今、各地を回って観光・交通関係の事業者と意見交換しているが、よく話に出るのが、ワクチン接種会場までの足の問題。(自治体から)『タクシース業界に協力してほしい』、逆に業界から『使っていない』という声をもらっている。政府内で共有し、自治体に情報提供したい」とした。

藤井直樹国交審議官、秋川直也自動車局長、デンソースの高橋秀雅執行幹部・乗用サームルシステム事業部統括部長らが立ち会った。

◇
今回、赤羽国交相はニューノーマルタクシースのほ

か、19年に改良されたユニバーサルデザイン(UD)仕様のトヨタ「JPN TAXI」の車いす乗降用スロープ板と、後部座席タブレットでの多言語音声翻訳「Japan Taxi Translator」を体験した。

川鍋会長は「大きな車いすの場合、コールセンターで案内できる。配車アプリで車いす対応車両と、習熟した乗務員を呼べるようにした」と披露。コロナ対策、多言語翻訳を合わせ、「パラリンピック、オリンピックの選手を準備万端に迎えられる」と意気込んだ。

赤羽国交相はJPNタクシースで一時、乗車拒否問題が起きたことに触れつつ、「素晴らしい進歩をした改良型だ。ハードだけでなく、ワンストップ的なコールセ

ンターをやってもらったのも有効と思う。(障害)当事者の話を聞きながら、改善を続けるのがバリアフリーの考え方だ。タクシース業界と共に課題を解決していきたい」と語った。